

梅雨の時期に関するお知らせ

名古屋地方気象台は、本日（7月18日）に
「東海地方は梅雨明けしたと見られます。」と発表しました。

東海地方は、湿った空気の影響で雲の広がっている所がありますが、高気圧に覆われておおむね晴れています。向こう一週間は、山沿いや内陸を中心に一時雨や雷雨となる所がありますが、高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。

このため、東海地方は7月18日ごろに梅雨明けしたと見られます。

今年の梅雨明けは平年（7月19日ごろ）と比べ1日早く、昨年（7月16日ごろ）と比べ2日遅くなりました。

（参考事項）

平年の梅雨明け：7月19日ごろ（東海地方）

昨年の梅雨明け：7月16日ごろ（東海地方）

梅雨期間降水量（6月21日から7月17日まで）（速報値）

降水量（ミリ）平年値（ミリ）

高山	347.5	258.6
岐阜	411.0	278.9

（注意事項）

- ・ 梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。
- ・ 梅雨の時期に関する気象情報は、現在までの天候経過と1週間先までの見通しを基に速報として発表する情報です。後日、春から夏にかけての実際の天候経過に基づいて梅雨入りと梅雨明けの時期を総合的に検討し確定しています。